

# 令和7年度 第1回浮体式洋上風力発電施設の安全評価手法等検討会 議事要旨

## 1. 検討会概要

日時：令和7年10月10日（金）15時00分～17時00分

場所：海上技術安全研究所3号館別館会議室／オンライン（Teams）

## 2. 議事概要

### ○事務局からの説明

- 1) 令和7年度事業の進め方について
- 2) 令和7年度事業の概要について
- 3) リスクの定量化に向けた要因整理表について
- 4) 将来検討すべき論点・課題の整理

### ○主なご意見

- リスク評価に基づいた商用ウインドファームの検査方法に関する調査では、船舶安全法の対象設備であることを前提とした浮体・係留システムの構成を考慮して進めてほしい。
- リスク評価に基づいた商用ウインドファームの検査方法に関する調査において、リスクを定量化する際に、過去の国内・海外にて発生した浮体・係留システムの不具合事例の情報を集めて分析してほしい。
- 新たな国際電気基準 IEC 61400-3-2 が発行されたことに伴う論点整理にて、IECの基準を日本の技術基準に適用を判断する際には、日本固有の事象や事情を考慮して、議論を進めてほしい。
- リスクの定量化に向けた要因整理表は、作成背景や目的等をもう少し明確にしてまとめた方がよい。
- 令和8年度以降の論点・課題の整理において、「A-2：係留ライン等の設計に関する事項」に関する見直しにあたり、【解説】には、終局荷重に関する留意点のみを記載する。